

## 国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の着工式 渋滞緩和に向けて早期完成を目指し、着工を祝う



関係者約100人が出席し、国道3号博多バイパスの着工を盛大に祝った。

九州地方整備局福岡国道事務所は8日、国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の着工式を福岡市の福岡県中小企業振興センターで開催した。着工式では衆議院議員、参議院議員、県議会議員、市議会議員等の関係者約100人が出席し、関係者の鍬入れ式や福岡市立箱崎清松中学校吹奏楽部の演奏が行われ、博多バイパスの着工を盛大に祝った。

着工式の冒頭で、九州地方整備局の垣下禎裕局長は「今回着工した工事は、福岡北九州高速道路公社による福岡高速3号線の延伸事業との連携により交通安全の向上等を期待するものであり、令和4年度より事業化を進め皆様方のご協力のもとで、本日着工の日を迎える事が出来ました。九州地方整備局としても福岡北九州



挨拶の垣下局長

高速道路公社と連携を取りながら1日でも早い開通に向けて進めていきますが、大都市部の市街地内工事となりますので、交通規制あるいは車線の切り替え等で地域の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願ひ致します」と挨拶した。

続いて、福岡市長代理の光山裕朗副市長は「国道3号博多バイパス一体化事業は、福岡空港や博多港など広域的な交通物流拠点が集積しており東部地域において極めて重

要な役割を担う幹線道路です。福岡空港では、昨年3月に第2滑走路が増設となり、今後多くの方々が国内外から訪れることが予想される中、周辺道路においては、慢性的な交通渋滞で社会経済活動に支障が生じています。福岡市としても事業の完成に向けまして最大限の努力をさせて頂きたい」と挨拶した。

来賓祝辞では、内閣総理大臣補佐官衆議院の井上貴博議員、参議院の松山政司議員、参議院の大家敏志議員、福岡県の服部誠太郎知事、福岡県議会の蔵内勇夫議長、福岡市議会の平畑雅博議長がそれぞれの立場から「渋滞緩和や安全性向上、物流の効率化、医療活動の支援など福岡県の経済発展の為に一日でも早い開通を期待したい」と祝辞を述べた。

この後、県議会議員や市議会議員等の来賓紹介や祝電披露が行われ、着工記念動画が放映された。鍬入れでは、来賓の方々と福岡市立吉塚小学校の生徒と一緒に鍬入れを行い、工事の安全と早期完成を願った。



挨拶の光山副市長



小学生と来賓の関係者が一緒に鍬入れ式